

令和元年度 赤穂市学校評価報告書

学校園名 赤穂市立尾崎小学校

1 本年度の学校経営方針

学校教育目標：自ら学び、夢を追い続ける児童の育成
 ～強い体と意思を持ち、何度でも挑戦する児童の育成～
 「なりたいと願う自分に なることができる学校」学校は夢がかなう場所
 I チーム尾崎小としての学校運営（協働する喜びにあふれた職員集団）
 「よいものを光らせる」「よいものを認め、広める」
 1 主体的に学び合う授業を創造する。 2 すべての子供が安心して学べる安全な環境をつくる。 3 教育の専門家として常に学び続ける。 4 気づいたことは声に出して、共有していく。 5 チームの一員としての誇りと自覚を持って職務を遂行する。 6 効率的で活気あふれる学校運営を行う。 7 いじめを防止し、早期発見・早期解決に全力で取り組む。
 II 確かな学力の定着と向上（授業の改善と充実）
 1 学びの基礎基本の徹底をする。 2 子供が主体的に学ぶ授業への改善 3 学習習慣を確立する。 4 体力の向上を図る。 5 情報教育を推進する。 6 国際理解教育を推進する。 7 伝統と文化に関する教育の充実を図る。
 8 キャリア教育を推進する。 9 環境教育を推進する。 10 防災教育・安全教育の充実を図る。
 III 自尊感情を育み、望ましい人間関係を築く。（人権教育の充実）
 1 豊かな心を育む。 2 道徳的資質を醸成し、実践力を育む。 3 人権教育・多文化共生社会の実現をめざす教育を推進する。 4 支持的風土を醸成する。 5 特別支援教育を充実する。
 IV 教育専門職としての資質を高める。（研究・研修の充実）
 V たくましい地域人を醸成する。（家庭・地域との連携）
 1 コミュニティスクールとしてさらに地域とともにある学校を構築する。尾崎に生まれ、尾崎に育つ喜びが感じられるよう地域とともに活動を展開する。 2 社会に開かれた教育課程を創造する。 3 学校ホームページや学校だよりにより、地域の人たちの学校への理解を深める。 4 地域との交流を深め、尾崎の町に愛着と誇りを持つ子供を育てる。 5 赤穂東中学校区7校園所・専門機関との連携を強化する。

2 本年度の学校(園)重点目標

- 「よいものを光らせる」「よいものを認め、広める」ことを徹底し、自分でできることを増やしていく。
- いじめ防止に向けた体制や職員の意識を強化し、取組を徹底する。
- 学習内容のつまずきや課題を明確にし、授業改善に取り組むことで確かな学力の定着と向上を図る。
- コミュニティスクールとしてさらに地域とともにある学校づくりに向け、地域との交流を深め連携を強化すると共に、地域住民とのふれあいを通してキャリア教育や伝統・文化に関する教育を推進する。

総合的な学校園関係者評価

・子供達のよいところをみんなの前で褒めてくれているので、その子自身の自信となり、まわりの子供達もその子を認めていくといった教育がなされており、とてもよいことだと思う。
 ・子供達が生き活きとし、保護者も安心して学校を信頼できていると思う。先生方が、目標を持って取り組んでいる結果が、子供達の様子からうかがえる。地域住民、保護者として今後も協力していきたい。
 ・小学生の頃からよいものを持っている子供は少ないと思う。褒めてやることで好きなことになったり、得意になったりすると思う。ちょっとしたことで褒めることは非常に大切なので、褒める教育を目指して欲しい。
 ・先生方と子供達の信頼関係が築けており、学校が楽しい場となっていることを嬉しく思う。
 ・挨拶や折れない心は、社会に出た時にとっても大切なので、このまま育てていただきたいと思う。
 ・学校評価アンケートの結果が物語るように、先生方はよくやってくれている。今後も引き続きお願いしたい。
 ・尾崎名所ウォークラリーが恒例行事となり、学校・PTA・地域が協力して尾崎地区の子供達の地域愛を育て、自分たちの町を知ることで、誇りに思えるようになっていくことは、地域住民として嬉しい。
 ・オープンスクールの際、児童からうまく意見を引き出す先生方の授業を見ることができた。
 ・校長を先頭に「学校経営方針」並びに「重点目標」に向けての一年間の活動ご苦労様でした。安心して学べ、自ら学び、夢を追い続ける子供に成長してくれたものと思います。今後も尾崎のまちに愛着と誇りを持つ子供が一人でも多く育つことを願います。

3 自己評価結果 (A～D) A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観 点 (重点目標)	評 価 項 目 (学校園・教師の取組)		評価資料	達成状況	改善の方策
	評 価 指 標	お よ び 目 標 値 (期待される姿)			
授業の 改善と 充実	項目 指標	基礎基本を明確にして授業を進めている。 授業はわかりやすく、楽しい。	自己評価 保護者・児童アンケート	A	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書・学習タイムの時間を有効に活用し、基礎基本の定着を図る。 校内研修を積み重ね、分かる授業が展開できるよう、発問や指導方法の実践に取り組む。 つまずきやすい学習内容の分析をし、その対策を検討して手立てを行う。 校内研修や全クラス自由参観の期間をつくるなど、授業を見合い、指導方法改善の実践に取り組む。 道徳科の交換授業を行い、授業力を向上させる。
	項目 指標	指導方法の工夫改善に努める。 授業がよくわかる。	自己評価 保護者・児童アンケート		
	項目 指標	個に応じた指導を意識し、推進する。 一人一人に合った指導をしているか。	自己評価 児童アンケート		
	項目 指標	指導と評価の一体化に努める。 明確な目標、多様な評価を行う。	自己評価		
	項目 指標	授業時数の確保に努める。 カリキュラムに準拠して指導する。	自己評価		
	項目 指標	実態に応じて工夫し、特色ある教育活動に努める。 尾崎ならではの教育活動の展開。	自己評価 児童アンケート		
	項目 指標	体験的、問題解決的な学習に取り組む。 目的を明確にして効果的な活動を仕組む。	自己評価 児童アンケート		
	項目 指標	課題教育の推進に努める。 国際理解・環境・福祉・情報・健康教育	自己評価 児童アンケート		

学校園関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> 子供達からは、授業が分かりやすい、塾はいらないと聞いている。 低学年では、複数の先生で関わっていただき、よく様子を見てくれている。 子供を信じ、認めてもらえているということが、学習態度をはじめ学習以外の意欲にもつながると思う。 尾崎ならではの教育活動の展開が見えることを期待しています。

観 点	評 価 項 目 (学校園・教師の取組)		評価資料	達成状況	改善の方策	自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
	評 価 指 標 (児童・生徒・園児の状態・行動)							
人権教育 の充実	項目 指標	全領域の中で推進する。 計画的に実施する。	自己評価 児童アンケート	A	<ul style="list-style-type: none"> 学年懇談会で支援教育について説明したり、お便りなどで周知をはかっていく。 いじめアンケートを定期的実施し、いじめや不登校の未然防止や早期発見に努めるとともに、アンケート結果を、できる範囲で保護者と共有できるように情報提供していく。 気になる児童の情報を共有し、指導体制を整備して、職員全員で指導にあたる。 	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育についての説明をより詳しくしたり、アンケートをとったりしたら、保護者や児童の気持ちが把握でき、相談しやすい環境になると思う。 特別支援教育については、子供同士のかかわり方等、難しい面があると感じている。理解を深める必要がある。 今後も、いじめアンケートを定期的に行い、未然防止、早期発見に努めて欲しい。 いじめアンケートについては、どこまで信頼性があるのか、難しいところがある。 いじめ、不登校対応を全職員で対応していくことを次年度も継続していただきたい。
	項目 指標	生きる力を育むよう積極的に取り組む。 常に目をかけ、声をかける。	自己評価 児童アンケート					
	項目 指標	いじめや不登校問題を解決しようと努める。 日常の観察、研修の充実、感性を磨く。	自己評価 保護者・児童アンケート					
	項目 指標	児童に寄り添う指導に努める。 特別な支援を要する児童に適切に関わる。	自己評価 保護者・児童アンケート					
	項目 指標	特別支援教育の啓発に努める。 保護者や地域住民に理解を促す。	自己評価 保護者アンケート					
研究・ 研修の 充実	項目 指標	自分で課題意識を持って研修に取り組む。 課題を明確にして、研究している。	自己評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員一人一人の得意分野の研究を進め、校内研修でその研究を広め、授業力の向上に努めていく。 朝マラソンを継続して、さらに発展させていく。 	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> 子供達が先生を尊敬・信頼しているのは、先生方が平日頃努力されているからだと思う。感謝しています。 子供達は、先生方のことを本当によく見ている。様々な先生方と接することが大切だと思う。 赤穂義士(郷土学習)は必要である。また、いろいろな学習の仕方があると思う。 朝マラソンだけではなく、休み時間の外遊び等により、体力向上の推進をお願いしたい。
	項目 指標	豊かな人間性の形成に努める。 自己研鑽のための様々な活動に参加している。	自己評価					
	項目 指標	日常的に体力向上に努める。 健康づくりに配慮している。	自己評価					
	項目 指標	赤穂義士について研修する。 赤穂義士について適切に指導できる。	自己評価					
	項目 指標	教育公務員としての自覚を持って生活する。 教育について、常に興味関心を持っている。	自己評価					
勤務時間 の適正化	項目 指標	ノー残業デー、ノー会議デーの実施に努める。 毎週末曜日は早く帰る。	自己評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 文書関係はサーバー上に整理して保存する等、データのスムーズな共有化に努め、業務を円滑に行う。 定時は4時30分という意識のもと、引き続き定時退勤日を設定し、全職員の意識統一のもとノー残業デー、ノー会議デーの完全実施に努める。 会議や行事等の運営について見直し、精選を進めて業務の効率化を図りるとともに、その日の行う業務を決める等の工夫により、子どもと関わる時間の確保に努める。 	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> 会議に参加させていただいた際など、スムーズに進行していただいているので、普段から効率のよい話し合いができていくと思う。 ノー残業デーでも、持ち帰り残業では意味がないと思うので、しっかりと休んでいただきたい。 難しいと思うが、管理職も含めた全職員が時間外勤務ゼロとなるよう、負担軽減に一層の努力をお願いしたい。
	項目 指標	効率的に仕事を進める。 時間を意識した仕事をする。	自己評価					
	項目 指標	子どもと向き合う時間の確保に努める。 子どもとともに過ごす時間が多。	自己評価 児童アンケート					
	項目 指標	校務のデータの共有化を図る。 学校のデータとして一元管理する。	自己評価					
	項目 指標	同僚と協働し、明るい職場環境づくりに努める。 自分を表現する。互いに笑顔で働く。	自己評価					
家庭・ 地域と の連携	項目 指標	学校での様子を伝えるよう努める。 家庭への連絡を正確に適切にする。	自己評価 保護者アンケート	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりを地域の方々に回覧し、またホームページの充実を図るなど学校の取組について情報を発信していく。 地域からゲストティーチャーを積極的に招き、地域についての学びを深めていく。 保護者との連絡を密に、また、丁寧なすることで信頼関係を強いものにしていく。 	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> 尾崎のまちウォークラリーが定着しつつあり、子供達の表情からも楽しみながら郷土愛が芽生えてきているように思う。 先生方には、毎回丁寧な対応をいただいています。 保護者と先生方の信頼関係をより築くためには、年に数回の接点では難しいと思う。例えば、保護者参加型の授業等工夫してもよいと思う。 学校だよりの回覧に加えて、ホームページ、PTA広報誌等の情報を地域に発信する等の工夫をしてもよいと思う。 郷土学習を通じ地域行事への積極的参加ができ、ますます尾崎を好きになる子供が増えることを願っている。
	項目 指標	学年便りや家庭連絡等、相互理解を図る。 定期的に発行する。保護者の願いを知る。	自己評価 保護者アンケート					
	項目 指標	尾崎が大好きになる仕掛けをする。 授業の中に郷土の学習を仕組む。	自己評価					
	項目 指標	電話、来訪者に丁寧な接遇をする。 明るく、さわやかな接遇をする。	自己評価					
	項目 指標	保護者とともに熱意ある指導に努める。 地域行事に積極的に参加する。	自己評価					

自己評価における特記事項

・特別支援学級と交流学級の情報共有を定期的実施し、連携を密に実施することができた。

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

・新型コロナウイルス感染に対する対応も迅速で、保護者や児童が不安になりすぎることなく落ち着いて行動できるのは、先生方のおかげだと思う。

・低学年の指導には、現在のように複数で指導していただけると、保護者や児童も安心できると思う。

・地域の方の協力にとっても感謝している。学校や地域の方よりも保護者の方が子供に対する責任感が薄かったりマナーが守れない方が多いように感じる。保護者の積極的な態度や責任感を見て、子供達は育つと思う。